



【実りと活力創造学部】

## 事業実施報告書【有害鳥獣駆除の後継者育成\_捕獲者養成プログラム】

- 日 時: 令和元年6月15日(土) 13:30~15:30頃
- 場 所: 千代田地域づくりセンター 大会議室
- 参加人数: 10名
- 内 容:

### ①講座のねらい説明

野生鳥獣による農作物の被害は年々増加しており、農家の生産意欲の低下や収入減をもたらしている。野生鳥獣の捕獲や被害対策を実施するには、法令の順守や鳥獣に対する正しい知識が必要であり、きたひろ学び塾ではこれらの対策を実施するための基本的な知識を取得するための講座を開催し、狩猟免許の取得を目指すとともに、地域全体で活動する被害対策の担い手を育成する。

### ②講座「捕獲者の養成」 野生鳥獣の捕獲、狩猟の知識、狩猟免許の取得と手続き

講師: 豊田 富雄(広島県猟友会 狩猟アドバイザー)

・イノシシの被害の現状

被害額＝広島県: 約4億円(H28年度: 全国2位)、北広島町: 約1千万円(H28年度: 県内13位)

捕獲数＝県内で毎年約25,000頭、右肩あがりに増加(10年間で2.6倍)

※金額に表せない被害＝耕作放棄地の拡大、新規参入者の農業意欲喪失、交通事故・人身事故の増加

・狩猟鳥獣の種類、狩猟期間、狩猟禁止場所、使用する猟具と狩猟免許の種類、特別許可捕獲制度、狩猟者登録制度、その他守るべき事項、狩猟免状取得の流れ、狩猟免許の概要、イノシシの効果的捕獲対策の推進

#### 【事務局の感想】

広島県には人口1,000人に対して1人の狩猟者しかおらず、被害の実態に追いつかないとのことで、被害が続くと田畑の耕作者は丹精込めて作ったものがダメになると耕作意欲を失い、荒廃農地となり、特に新規就農者は諦め感が強く地域に根つきにくい、といった現状は私の地域でも感じるどころでした。

また、狩猟(特に銃)は免許取得には厳しい審査があり、購入費用も多額でリスクも高く、なり手が少なく、決して娯楽ではない、とのことでした。

今回、鳥獣被害の実態と駆除の現状を学び、今後、北広島町の田畑を守り、農業後継者、新規就農者を確保するため、鳥獣被害に対して私に何ができるのかを考えるきっかけとなりました。

